

「じょもっと」を含む応募作品一覧

愛称	愛称の説明や込められた思い
A-JOMOTTO	縄文の情報をもっともっと知って欲しいから
HumanStart青森じょもっと	人間の始まりの縄文をもっと知って欲しいので、じょもっとになりました
JOMOMOTTO	『縄文』を『もっと』知ってほしいという想いを込めて考えました
JOMOT(じょもっと)	縄文 (JOMON) のことをもっと (MOT) 知りたい! 知ってほしい! から、『縄文をもっと』で『JOMOT』です(*^^*)子どもから大人まで楽しんで学べる施設になるといいな。
JOMOTO ジョモット	縄文の良さ、楽しさをもっともっと知ってほしいという意味でジョモットがいいと思います。
JOMotto	縄文についてもっと知ってほしい、もっと沢山の人来てほしいという思いを込めました。
Jomotto	Jomottoとは、縄文の縄 (ジョウ) から紡がれた思いを、無限大に繋いでいきたいので、無限大を横にして、数字の8に見立てて、イタリア語でotto (オット)、地元を方言で言うと、「ジョモット」とも聞こえるので、地元にも日本にも愛される交流の場にしたいと考え、「Jomotto」 (ジョモット) とした。
JOMOTTO	縄文について、もっともっと知りたい! そんな気持ちになるような情報発信施設になるよう、願いを込めました。
JoMotto (ジョモット)	響きの良さ、縄文についてもっと知ろうという事で名付けました。
JOMOTTO (ジョモっと)	「縄文」文化を「もっと」身近に感じて欲しいという願いを込めました。また、「～と共に」の意味の「～と」や、気軽に立ち寄ってほしいということから「ちょっと」などの語感も感じられるものにしました。
あおいもりJOMOTTO	わたしは、青森市に住んでる小学校5年生です。4年生の夏休みの自由研究で青森県の世界遺産登録されている縄文遺跡をすべて見学しました。昔の人がどんな暮らしをしているのか、知ることができて、とってもワクワクしました。もっと縄文のみりょくをたくさんの人に知ってほしいなと思って、あおいもり (青森) JO (縄文) MOTTO (もっと知りたい!) という思いを込めました。
じょMOTTO	縄文文化をもっと知ってもらい。そして、三内丸山遺跡へ足を運ぶきっかけになって欲しいとの思いをこめて。
じょもっと	縄文 もっと の意味 まだまだもっとたくさんの人たちに知ってもらいたい。
じょもっと	じょうもんから「じょ」、もっと知りたい、もっと見てみたいから「もっと」をとって「じょもっと」にしました。
じょもっと	青森の縄文遺跡群をもっと多くの人に知ってほしいから。(じょうもんをもっと)
じょもっと	青森の縄文遺跡群をもっと盛り上げたい! もっと人が来て欲しい! という願いを込めました。

じょもっと！	青森県の価値ある「縄文」の魅力を、「もっと」発信したい、そして知りたい、体験したいという想いをこめました。
もっとJOMOTTO！（モット ジョモット）	縄文遺跡を「もっと」知ってほしいという思いを込めたのと、なじみやすいような響きを重視しました。
青森縄文ワールド ジョモット	縄文をもっと知ってもらうための情報発信スポット 縄文+スポット「ジョモット」誰でも分かりやすく覚えやすい愛称で、もっと青森の縄文遺跡を知ってほしいという思いを込めました。
縄-MOTTO-(じょうモット)！	縄文文化の知識を沢山の人もっと知って欲しい。との思いです。
北東北遺跡パーク ジョモットあおもり	「縄文をもっと！」の想いを込め、今までの遺跡群よりもっと楽しめて、もっと縄文遺跡群について知りたくなる場所、という意図の名称です。